

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	メーソンリー改修技術研究小委員会		主 査 名：長谷川直司 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (組積工事運営委員会)		委員長名：早川光敬 主 査 名：川上勝弥
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修に用いられるメーソンリー技術の整理</li> <li>・メーソンリー建築物等の劣化現象と改修方法の整理</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	青木孝義(名古屋市立大学)、石井克侑(太陽セメント工業(株))、井上芳生(INO建築構造研究室)、川上勝弥(小山高専)、千歩 修(北海道大学)、高橋和雄(太陽セメント工業(株))、根井 浩、大和征良(日本ヒルティ(株))、長谷川拓哉(北海道大学)、長谷川直司((国研)建築研究所)、眞方山美穂(国土技術政策総合研究所)、三田紀行(職業能力開発総合大学校)、守 明子		
設置 WG (WG 名：目的)			
2016 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 改修に用いられるメーソンリー技術の調査を行い技術の整理を行った。 2. 歴史的建築物を含め、メーソンリー建築物の、改修にあたって用いられた技術についてひきつづき情報を収集し、過年度の情報を含め総体的に整理を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 予算不足のため、関連委員会と同じ日に委員会を開催している。このため、十分な時間が取れない等の問題がある。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。  
\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。